

MOVE YOUR HEART!

FC GIFU

FC 岐阜
株式会社岐阜フットボールクラブ
取締役会長 宮田 博之

連載 Vol.

104

西谷 亮 選手・小川 真輝 選手の紹介

にし なたに りょう
西谷 亮 選手(20歳) 背番号 **16MF**

ホームタウン応援大使 ニックネーム
輪之内町、安八町 りょう



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

神奈川県川崎市出身、サッカーは幼稚園のサッカースクールで始めた。市立麻生小学校に通い3年生まで町クラブのFCパーシモンに通った。4年生の時に東京ヴェルディジュニアのセレクションに参加し、約200名の中から8名に選ばれ合格した。その後も選手の入替わりのある中で、市立麻生中学校時代は東京ヴェルディジュニアユースに進んだ。高校は県立元石川高等学校に進学し、東京ヴェルディユースでサッカーに励んだ。高校2年時には高校年代大会の一つ、プリンスリーグ戦で優勝したことが一番嬉しかった。そして高校3年生の時は東京ヴェルディユースのキャプテンを任された。しかし肩の脱臼や鎖骨骨折の負傷などにより、半年間練習出来ず、試合にも出場出来なかった。負けず嫌いな性格の自分が、キャプテンながら1年間の半分もピッチに立てなかった経験を通して、サッカーが実に多くの人に支えられている実態を見て、自分やチームだけでなく支えて頂いている皆さんのためにも頑張らねばと思うようになった。広く周りが見えるようになり、メンタルも強くなれたと怪我の期間にも学ぶことがあった。

今年FC岐阜に加入し、初めての一人暮らしを始めた。家族も心配して来てくれたが、自炊も楽しんでいるので安心してきている。日本史とドライブと自然が大好きで、休日はドライブ方々、寺社仏閣巡りをしている。最初に行った伊勢神宮の広大さと荘厳さには圧倒された。また、岐阜城から眺められる濃尾平野の壮大な戦国エリアや母親に教えられて行った、付知峡の岩魚の里では源流の素晴らしさに感動しました。ホームタウン応援大使を務める安八町に訪れた際、この秋限定3試合で着るリミテッドユニフォームに採用されたストリートアーティストの小川亮氏の作品で、安八町の道路端にあるコンテナに描かれた原画を見てきた。今季23試合中16試合に出場しているが、残る15試合では着実に勝ち試合になるように貢献していきますので応援よろしくお願ひします。

お がわ まさ き
小川 真輝 選手(25歳) 背番号 **18DF**

ホームタウン応援大使 ニックネーム
飛騨市 オガ



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

神奈川県横浜市出身で両親と3歳上の兄と4人家族で育った。横浜市立中川小学校時代に横浜港北サッカークラブに加入し、4年生の時に川崎フロンターレのセレクションに合格しU-12に加入した。市立中川中学校でも川崎フロンターレU-15で続けた。高校は、神奈川県立岸根高校に進学し、川崎フロンターレU-18でサッカーを続けた。U-18では全国クラブユース選手権大会で2年連続3位になったことを誇りに思っている。川崎フロンターレU-15、U-18の同期生のうち約7名がJリーグで活躍中である。U-18時代は高校の授業が終了後にクラブ練習場へ移動して18時から20時すぎまで練習をした。シャワーを浴びてチームメイトとの食事を済ませ、家につくのは23時。翌朝8時には家を出る厳しい生活だったが、試合に勝つ喜びが皆を支えました。

大学は千葉県佐倉市にある順天堂大学に進学し、1年目は様々な学部や学年の学生寮に入ったお蔭でサッカー一辺倒人生では得難い様々な学部生との交流が出来た。2年生からはアパートでの一人暮らしをして自炊生活をしてきたお蔭で、卒業後のJ3テグバジャー口宮崎での2年間も岐阜での現在の生活も自炊生活を楽しむことが出来る。特にカレーが大好きで、カレーのルーを使わずに、全て自分仕立てのカレーを作ることを楽しんでいる。趣味はF1レースの中継を観ることで、いつか実際のレースを見たいと思っています。岐阜は自然が豊かで、川がきれいなのでオフの日には長良川沿いにドライブに出かけるなど、いつも楽しく過ごしている。特に岐阜市の街を流れる長良川中流域や板取川沿いや付知川沿いは最高に楽しいエリアだと思っている。ホームタウン応援大使を務める飛騨市にも早く行ってみたいと思っている。FC岐阜では試合を応援して下さる皆さんの熱量の大きさを感じて、いつも感謝しています。何としてもここからは勝利を届けられるように皆で頑張っていきますので、何卒応援のほどよろしくお願ひいたします。